

平成23年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	05	事業名	高津区わくわくフェスティバル事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	菅谷	連絡先	044-861-3144
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	地域で親子がふれあう機会が減少しているなか、「地域の活性化」や「親子のふれあい」を図ることが求められている。
事業概要	わくわくフェスティバルを通じて、青少年の健全育成、親子のふれあいを推進するため、次の取組みを行う。 ●高津区民祭の関連事業として、高津小学校校庭を会場に親子を対象とした各種イベントを行う。 ●高津区民祭開催日に、エアークッション滑り台、ゲームコーナー、ヒーローショーなど、子ども向けのイベントを実施する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,600,000	決算額	0	不用額	1,600,000
不用の理由	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業も中止となったため。				
事業目標	地域の活性化と親子のふれあいを図るとともに青少年健全育成のための啓発を行う。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	●高津区民祭の関連事業として、高津小学校校庭を会場に親子を対象とした各種イベントを行う。 ●高津区民祭開催日に、エアークッション滑り台、ゲームコーナー、ヒーローショーなど、子ども向けのイベントを実施する。				
事業目標を達成する上での課題等	区民への広い周知と参加者の確保が課題である。				
実績	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業も中止となった。				
協働の視点	市民で構成されている実行委員会(高津区子どもフェア運営委員会)へ委託し、市民が主体となって企画・運営を行う。				
環境配慮への視点	再生・再利用可能な備品等を積極的に利用し、エコの視点からのイベント内容の見直しや、会場内での分別収集の徹底を実施する。				
取組の成果	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業も中止となった。				達成度
					—

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	平成24年度は、高津区民祭の全体的な見直しに伴い、当事業も事業実施手法等の再構築をし、継続して「地域の活性化」や「親子のふれあい」を図っていく。

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	15	事業名	体育・スポーツイベント		
事業所管課	地域振興課		担当者	原田	連絡先	044-861-3144	
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区においても、近年の大型マンションの建設等に伴い転出入が多く、新規転入者を含めた地域の交流・親睦が求められている。
事業概要	体育指導委員会が中心となり、区民祭の行事の一環として、成人男女・少年少女のチームで綱引き大会を開催する。また、会場である高津スポーツセンターのゲートボール場を利用して、ゲートボールの未経験者に実際にゲートボールを体験できる場所を提供する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	290,000	決算額	0	不用額	290,000
不用の理由	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業も中止となったため。				
事業目標	実施にあたり、様々な団体の連携を通じて、地域交流の促進を図るためのイベントを協働で行う。前年度に引き続き200人程度の参加者を確保し、地域交流の促進を図る。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	業務を委託する体育指導委員会や、会場となる高津スポーツセンターの管理を行っている総合型スポーツクラブSELFの協力を得て参加者拡大のため広報活動を行う。				
事業目標を達成する上での課題等	様々な関係団との連絡調整や協力体制の構築及び新規参加者を増やすための周知方法の検討が課題である。				
実績	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業も中止となった。				
協働の視点	町内会・自治会から推薦を受けた区民によって構成される高津区体育指導委員会に業務を委託し、市民が主体となって運営する。				
環境配慮への視点	スポーツセンター内でのごみの捨て方について、ごみの分別を徹底するよう注意を呼びかけ、環境に配慮するよう努める。				
取組の成果	震災の影響により区民祭が中止となったため本事業も実施されなかったが、来年度以降の区民祭開催状況に合わせた今後の事業内容を体育指導委員会と協議した。				達成度 —

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	高津区民祭の全体的な見直しに伴い、当事業を終了する。

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	15	事業名	高津地区親子運動会開催事業		
事業所管課	地域振興課		担当者	原田	連絡先	044-861-3144	
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	地域コミュニティの更なる育成について、日ごろから、町内会や自治会、地域住民などから寄せられる要望があるため、そのような場の提供が課題となっている。
事業概要	地域の活性化及び地域コミュニティの更なる育成を図ることを目的とし、10月の第3日曜日に、高津高校で、高津地区の親子を対象に運動会を実施する。参加者数は、例年4,000人で、町会対抗リレーやむかで競走などの他、当日参加ができる競技も多数用意する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	940,000	決算額	940,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	実施にあたり、様々な団体の連携を通じて、地域交流の促進を図るためのイベントを協働で行う。前年度に引き続き4,000人程度の参加者を確保し、地域交流の促進を図る。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	実行委員会形式をとり、委員会は高津地区連合町内会を中心に、青少年指導員会、体育指導委員会など関係団体で構成する。会議の開催は7回。他には団体ごとに会議を開催する。様々な団体との連携による円滑な事業実施を図る。				
事業目標を達成する上での課題等	様々な関係団体との連絡調整や協力体制の構築及び多くの区民が参加をするような広報手段の工夫などが課題である。				
実績	【委託先】高津地区親子運動会実行委員会 当日の悪天候により、運動会事は、中止となった。				
協働の視点	実行委員会形式をとり、委員会は高津地区連合町内会を中心に、青少年指導員会、体育指導委員会など関係団体で構成し、市民が主体となり運営する。				
環境配慮への視点	できる限り廃棄物がでないように努め、用具物品等においては、再生可能なものを使用するようにする。また、参加者にはゴミの持ち帰り分別収集をしてもらうよう呼び掛ける。				
取組の成果	当日の悪天候により、運動会事は中止となったが、実施にいたる過程において各団体との会議、用具点検、広報活動など様々な形で連携を図り、事業実施に向けた円滑な準備を進めた。また、前日の夕方に急遽中止が決定したが、迅速な周知と団体間の協力により適切な対応が行えた。事前のイベント広報や当日の中止の周知にあたっては、今年度より立ち上がった「たかつスポーツねっと」のHPなど新たな広報媒体を活用した。				達成度
					—

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	平成24年度は、予算ベースで橋地区親子運動会と統合し、用具費等の経費を削減を図りつつ、継続して高津地区のスポーツを通じた地域コミュニティの育成と様々な地域団体、区民の交流の場として、現状の参加者数を維持し、伝統ある地域イベントとして行う。

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	20	事業名	橘地区親子運動会開催事業費		
事業所管課	橘出張所			担当者	石丸 皓也	連絡先	044-777-2355
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	子どもから大人まであらゆる年齢層の人が参加できる運動会を実施することで、「スポーツを通じた家族・親子のふれあい」「地域コミュニティ」の形成につなげる。
事業概要	運動会を通じた区民の健康増進、青少年の健全育成、親子・近隣相互の親睦を深め連携を強化し、橘地区の明るい住みよい豊かなまちづくりを目指し、橘地区連合自治会をはじめ地区内9つの団体が構成する実行委員会と区役所が協働して、毎年10月の第3日曜日に橘中学校で運動会を実施している。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	660,000	決算額	660,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	継続的な来場者数の確保。参加者の環境美化意識の向上。区他事業との連携による地元への愛着心向上や町内会・自治会活動への参加の契機につなげる。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	地場産野菜の活用(たちばな農のあるまちづくり推進事業)。区内他スポーツ団体へ参加協力を要請しコミュニケーション強化による円滑な運営(スポーツネットワーク事業)。開会式でのエコ宣言(選手宣誓)及びポスター・パンフレット等へのゴミ持ち帰りの記載。大会チラシの学校への配布。				
事業目標を達成する上での課題等	他課実施事業の情報把握及び実行委員会との密な連絡調整。費用対効果を十分に考慮した競技運営手法の検討。				
実績	これまで43回の開催を経て例年3,000人程度の参加者があり、伝統ある地域の交流イベントとして定着している。 <<今年度実績>> 委託先: 橘地区親子運動会実行委員会 日 時: 平成23年10月16日(日)9時00分から 天候(雨のち晴れ) 会 場: 川崎市立橘中学校 参加者数: 2,500名(延べ) ※震災復興支援…東北地方名産品を抽選会賞品として活用(20本)、会場内で義援金募金(市基金へ寄付)				
協働の視点	橘地区連合自治会をはじめとする地区内9つの団体が構成する実行委員会形式をとっており、事業の企画及び運営を行っている。				
環境配慮への視点	できる限り廃棄物がでないように努め、参加者にはゴミの持ち帰りや分別収集をしてもらうよう呼びかける。用具等について再生可能なものを使用するようにする。				
取組の成果	運動会参加者が延べ2,500名あり、町会対抗・自由参加競技への参加者も多く、スポーツを通じた家族・親子のふれあいと地域コミュニティの形成につなげる場を提供することができた。橘地区の地場産野菜を抽選会賞品として活用し、イベント広報においては今年度立ち上がった「たかつスポーツねっと」のHPに掲載するなど区他事業との連携を図ることができた。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	橘地区のスポーツを通じた「家族・親子のふれあい」「地域コミュニティ」の形成と様々な地域団体、区民の交流の場として、多くの町内会・自治会の参加を得て参加者数3,000人を維持しつつ伝統ある地域イベントとして継続して行う。

平成23年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	25	事業名	地域コミュニティ施策推進事業		
事業所管課	地域振興課			担当者	中村	連絡先	044-861-3144
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	地域コミュニティの核である町内会・自治会において、役員の高齢化・後継者不足、加入率の低下や活動への参加者の伸び悩みなどを克服し、地域課題を地域で解決する組織の形成が求められている。
事業概要	今日の地元意識の希薄化により、町内会・自治会が抱える多くの課題の解決を図り、地域の核となる町内会・自治会活動を活性化することにより、地域コミュニティの形成を図っていく。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	2,499,000	決算額	996,000	不用額	1,503,000
不用の理由	契約差金				
事業目標	地域コミュニティの核である町内会・自治会は、役員の高齢化・後継者不足、加入率の低下や活動への参加者の伸び悩みなど、多くの課題を抱えており、これらの課題の解決や、新しい形態での活動の道を探り、町内会・自治会活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化を促す。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	地域社会、研究、教育、産業の振興に貢献することを目的とした連携・協力に関する基本協定を本市と締結した学校法人日本女子大学に委託し、町内会・自治会活動の活性化に向け、他地域事例の調査及び研修会を実施する。				
事業目標を達成する上での課題等	加入率の低下や活動への参加者の伸び悩みなどの問題意識は皆が持っているが、課題やニーズが多岐に渡り、更にそれぞれの団体の特性があるため、効果的な対応策を見つけることが課題である。				
実績	【委託先】学校法人 日本女子大学 調査結果資料 高津区全町内会連合会研修会 会 場：高津区役所5階会議室 日 時：平成24年3月14日(水) 15:00~17:00 参加者：約50名(区内の町内会・自治会長) 内 容：4組の事業報告例、グループ討議及びパネルディスカッションの実施				
協働の視点	地域の核となる町内会・自治会活動の活性化に向けた必要な取組み等を検討し実施するため、高津区全町内会連合会と高津区役所との協働により事業を実施しており、市民の意見を踏まえつつ、研修会等を実施している。				
環境配慮への視点	報告書の製作にあたっては、再生紙を使用する。				
取組の成果	高津区全町内会連合会研修会においては、約50名の会長が参加し、4組の事業報告例、グループ討議及びパネルディスカッションを行った。また、5つのテーマ型の特性において他都市の事例調査報告を実施し、情報共有を行った。				達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	引き続き、高津区全町内会連合会と高津区役所との協働により、また、大学等と連携しながら、より効果的な対応策を立案するため、業務を見直し・改善して実施していく。

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	30	事業名	公園を活用したコミュニティ活性化事業		
事業所管課	企画課			担当者	佐藤	連絡先	044-861-3131
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	●都市化の進展により、子どもが遊ぶことのできる路地や原っぱなどが減少している一方で、公園が子どもの遊び場としては有効に活用されていない状況があり、既存の公園の活用により子どもの遊び環境を豊かにすることが求められている。●高津区では住民の転出入が多く、地域との関わりの薄い住民が増えている。しかし、従来の地域活動の中心であった町内会自治会・老人クラブ・子ども会等の団体においては、加入率の減少が見られ、新たな形態のコミュニティやネットワークによる、人と人のつながりづくりが必要とされている。
事業概要	●まちなかにある公園を地域コミュニティを育む公共空間と捉え、子どもの遊び場、健康づくりなど様々な地域活動の拠点として活用を進め、公園を拠点とする活動から新たな社会的ネットワークを形成する。●事業の推進にあたっては、区民会議の審議と連携し、具体的な手法等を決定していく。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	3,291,000	決算額	1,904,062	不用額	1,386,938
不用の理由	区民会議においてモデル地区の選定を行ったため、当初予定よりも事業期間が短くなり、委託費が削減されたことによる。				
事業目標	区民会議等における審議状況にもとづき、事業の推進体制やモデル事業の内容を検討した上で、2か所程度の公園でモデル事業を実施する。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	①区役所横断的な事業推進のため、庁内プロジェクトを組織する。②各モデル地区において事業推進のための世話人会を設置する③各地区において、「公園ミーティング」を開催し、幅広い住民意見にもとづき、モデル的な取組の検討を進めていく。				
事業目標を達成する上での課題等	モデル事業の内容については地域性に配慮した内容とし、地域住民に理解や参加が得られるものとしていく必要がある。				
実績	①区民会議の現地調査にもとづき、2地区をモデル地区に選定した上で、区役所横断的な事業推進のため庁内推進プロジェクトを設置した。②2地区それぞれにおいて、区民会議委員代表や公園管理運営協議会等をメンバーとする「公園ミーティング世話会」を設置し、各5～6回の世話人会、各1回「公園ミーティング」を開催した。③公園ミーティングの結果をもとに、溝口南公園においては「親子防災教室」の開催、坂戸公園においては情報共有のための掲示板の設置など、公園活用のための取組を進めた。				
協働の視点	本事業は区民会議の提言を具体化したものであり、区民による地域課題解決手法の一つと言える。また、実施の段階においても、地域住民を主体にした世話会を中心にモデル事業の内容等を検討しており、市民協働の視点を重視しながら事業を展開している。				
環境配慮への視点	公園ミーティングにおいてはカフェコーナーを設置し、気軽に参加できる雰囲気づくりとともにペットボトルのゴミが出ないような配慮を行った。また、本事業が活発化することにより、公園を「地域の庭」として大切に維持管理する意識が醸成されると考えられる。				
取組の成果	モデル実施した防災教室や情報掲示板の設置等が、公園を世代間交流や防災活動に活用していくきっかけとなっている。また、世話会や「公園ミーティング」の開催を通じて、それぞれの公園の特徴や課題などが整理され、コミュニティの活性化という視点で、公園の価値の再認識につながったと考えられる。				達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	各モデル地区のモデル期間は1年間を目途としていることから、次年度秋ごろまで、現在のモデル地区の取組を継続していく。モデル期間終了後もそれらの新しい取組が継続され、地域に定着させていくため、最低限必要なハード整備や団体間の関係づくりに向けた支援を行っていく。さらに、現在のモデル地区の取り組み期間終了後の展開については、引き続き区民会議との連携も視野に入れ、事前調整を進めていく。

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	35	事業名	橋ふるさと祭り子どもイベント開催事業費		
事業所管課	橋出張所			担当者	宮本	連絡先	044-777-2355
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	地域の子どもたちが交流する場を設定し、地域の和を深め、犯罪や非行の防止を図る。また、ふるさと意識の醸成と、地域の活性化を図る。
事業概要	橋ふるさと祭りのイベントとして、地区内小学生によるポスターコンクールの実施や、子どもたちが橋地区の魅力や地域特性を知ることができるイベントの企画・運営を行う。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	1,320,000	決算額	1,320,000	不用額	0
不用の理由					
事業目標	橋ふるさと祭りの広報・ポスターコンクールの実施により子どもの主体的な参加を確保する。子どもたちに橋地区の魅力と地域特性を知る契機につなげる。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●地区内小学校にポスターコンクールへの応募依頼 ●橋ふるさと祭り会場への応募作品の展示 ●移動動物園やゲームコーナー、工作などの子ども向けイベントの企画・運営 				
事業目標を達成する上での課題等	<ul style="list-style-type: none"> ●実行委員会との密な連絡調整 ●費用対効果を十分に考慮した子どもイベントの企画・運営 				
実績	委託先：橋ふるさと祭り実行委員会 日 時：平成23年8月7日(日) 9時30分から 場 所：川崎市民プラザ 来場者数：約8,500名(全体) うち子どもイベント約4,000名				
協働の視点	橋ふるさと祭り実行委員会は、橋地区連合自治会をはじめとする地域の諸団体で構成されている。行政と実行委員会が互いの役割分担を明確にし、さらに各委員がイベントをよくするため積極的・自発的に行動した。				
環境配慮への視点	実行委員会から各町内会・自治会に対して、来場者のゴミの持ち帰りの徹底を図るように要請し、同時に子どもを中心にゴミの分別・減量意識の高揚を図った。				
取組の成果	橋ふるさと祭り全体の来場者が約8,500名、そのうち子どもイベントに約4,000名と多数の住民が来場し、地域の子どもたちの交流の場として地域の和を深めるきっかけづくりができた。ポスターコンクールの応募も72名と多数あり、このイベントの浸透が進み、子どもたちに橋地区の魅力と地域特性を知ってもらう契機となった。				達成度 3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	より効率的及び住民ニーズに適応した事業展開を目指し、事業内容等の改善を行うと共に、橋地区の特色を活かした事業を行い「地域の活性化」「ふるさと意識の醸成」を進める。

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	40	事業名	「橘ふるさと祭り」における東日本大震災被災地復興等支援事業		
事業所管課	橘出張所			担当者	宮本	連絡先	044-777-2355
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	東日本大震災による甚大な被害を受けた被災地の復興支援及び、原子力発電所事故により想定される夏の電力不足の節電対策の周知・啓発が課題である。
事業概要	復興支援及び節電対策の周知・啓発をより効果的に行うために、多くの来場者が見込まれる「橘ふるさと祭り」において、次の取組みを実施する。 (1) 東京電力等電気事業者が作成している節電に係る資料の配布 (2) 東北地方物産展の開催 (3) 観光情報の提供及び民芸品の展示 (4) お楽しみ抽選会への景品(東北地方の物産品)の提供

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	450,000	決算額	218,707	不用額	231,293
不用の理由	物産展の予算計上された費用を出展者が負担し支出したため				
事業目標	東日本大震災の被災地支援に貢献するとともに、併せて橘ふるさと祭りの充実を図る。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	(1) 東京電力等電気事業者が作成している節電に係る資料の配布 (2) 東北地方物産展の開催 (3) 東北地方の観光情報の提供及び民芸品の展示 (4) お楽しみ抽選会への景品(東北地方の物産品)の提供				
事業目標を達成する上での課題等	被災地各県への協力依頼及び調整が課題である。				
実績	委託先：橘ふるさと祭り実行委員会 日 時：平成23年8月7日(日) 9時30分から 場 所：川崎市民プラザ 来場者数：約8,500名(全体) うち子どもイベント約4,000名 節電啓発コーナー及び福島・宮城・岩手三県の物産展・情報コーナーを設置した。また、抽選会へ被災した3県の物産品詰合せを賞品として計20個提供した。さらに、高津区のタウンセールス大使(キラリたかつ大使：ヴァンプ将軍)を活用した節電の啓発を行った。				
協働の視点	橘ふるさと祭り実行委員会は、橘地区連合自治会をはじめとする地域の諸団体で構成されている。各委員が当該事業の趣旨をよく理解し、効果的に実施するため積極的・自発的に行動しており「地域の活性化」に役立っている。				
環境配慮への視点	実行委員会から各町内会・自治会に対して、来場者のゴミの持ち帰りの徹底を図るよう要請し、同時にゴミの分別・減量意識の高揚を図った。				
取組の成果	節電の啓発、被災地の復興に協力できた。各事業実施により参加者数が例年より500人多い8,500人であった。				達成度
					3

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を終了する
	事業は、一旦終了とするが、今後の社会情勢等を見つつ事業の実施等を判断していく。

平成23年度 高津区地域課題対応事業 評価書

1 基本情報

予算中事業コード	30	予算小事業コード	95	事業名	区民祭開催経費		
事業所管課	総務課			担当者	四柳	連絡先	64113
関係局(局区連携事業は記載)							

2 地域課題・事業の概要

事業によって解決すべき課題	高津区の個性を活かしながら、失われがちな地域の魅力づくりを推進する必要がある。
事業概要	区民祭の開催を通じて、失われがちな郷土意識を呼び起こし、区民が自分の住む地域に愛着と誇りを持てるよう。地域の魅力づくりを推進する。

3 予算・事業目標・取組の成果

予算額	348,000	決算額	0	不用額	348,000
不用の理由	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業費の執行も中止となったため。				
事業目標	区民祭開催事業の推進のため、行政として支援を行う。				
事業目標達成に向けた今年度の具体的な取組	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業費の執行も中止となった。				
事業目標を達成する上での課題等	特になし				
実績	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業費の執行も中止となった。				
協働の視点					
環境配慮への視点					
取組の成果	東日本大震災の影響により高津区民祭が中止となり、当該事業費の執行も中止となった。				達成度
					—

達成度 1:目標を大きく上回って達成 2:目標を上回って達成 3:目標をほぼ達成 4:目標を下回った 5:目標を大きく下回った

4 事業の方向性

取組の成果・予算編成等を踏まえ、翌年度以降の事業の方向性	<input type="checkbox"/> 見直し・改善のうえ継続 <input type="checkbox"/> 終了を見越して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり継続 <input type="checkbox"/> 事業を終了する
	区民祭そのものの在り方は見直しが行われるが、行政として、充実した区民祭の開催のために支援を行う必要性は変わらないため、現状どおり継続方針とする。